

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	CODO 外語観光専門学校
設置者名	学校法人弘堂国際学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	観光学科 国際観光ビジネスコース	夜・通信	512時間	160時間	
	観光学科 ホテルマネジメントコース	夜・通信	672時間	160時間	
	IT (情報ビジネス) 学科	夜・通信	384時間	160時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「令和2年度シラバス」内に掲載し、図書室に備え付け公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	CODO 外語観光専門学校
設置者名	学校法人弘堂国際学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「理事会名簿」を作成し、図書室に備え付け公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元鳥栖市長	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	学校法人運営への チェック機能
非常勤	元小学校長	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	教育内容への チェック機能
非常勤	元佐賀県議会議員	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	財務内容への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	CODO 外語観光専門学校
設置者名	学校法人弘堂国際学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の担当教員は3月末までにシラバスを作成し、教務部へ提出。 ・毎年、年度が始まる前の3月に講師会を実施する。その中で、授業における注意点や本校教育内容の共有を図る。 ・学生に対しては、年度初めにオリエンテーションを行い、「学生便覧」を配布する。成績評価の方法や進級条件を説明する。 	
授業計画書の公表方法	「学生便覧」を図書室に備え付け公開
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
本校学則記載のとおり、	
<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の成績評価は前期・後期の期末に行う。各科目の定期試験に、出席点・課題点を加えた合計点を評価対象としている。 ・各科目で、定められた出席時数に達していない者はその科目について評価を受けることができない。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・各科目の成績評価は、前期・後期に実施する定期試験を60%、出席点を20%、課題点を20%として合計点を評価対象とする。

判定	点数	評価
合格	100 ~ 80 点	A
	79 ~ 70 点	B
	69 ~ 60 点	C
不合格	59 ~ 0 点	D

の4段階評価とする。

・GPA算出時は、評点をA(3点)、B(2点)、C(1点)、D(0点)として、各科目の評点の合計を全科目数で割る。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

「学生便覧」を図書室に備え付け公開

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

<ディプロマポリシー>

豊かな教養と専門知識・職業に必要な能力を習得し、活力に満ちた産業経済界の需要に応える。そして地元社会の発展に寄与し、グローバル化に即応する人材に対して卒業認定を行う。

具体的には、本学所定の課程を修了した者には、専門士の称号と共に、卒業証書を授与する。学則に定める評定以上を合格として、合格に達しない場合は、再試験や追試験を実施する。専門的知識の理解を深めた後、合格へと達した者には、専門士の称号と共に卒業証書を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

「学生便覧」を図書室に備え付け公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
年		単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
人	人	人	人	人	人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準 （概要）
学修支援等 （概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
観光学科	100,000 円	720,000 円	110,000 円	教育充実費
IT (情報 ビジネス) 学科	100,000 円	720,000 円	110,000 円	教育充実費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
推薦入試減免制度 : 50,000 円の減免				
専願者特別減免制度 : 50,000 円の減免				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「自己評価」として刊行物を作成し、本校図書室に常備する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 地域の方や本校に関係する方々 4 名で構成し、学校関係者として定め、学校関係者評価委員会を設置し、開催する。本校の学校運営や教育方針、取組みをまとめたものを評価いただく。評価結果に応じて改善措置を講ずることによって、教育水準の更なる向上を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(前) 鳥栖市教育長	令和 2 年 4 月 1 日 ～令和 4 年 3 月 31 日	地域住民
社会保険労務士	令和 2 年 4 月 1 日 ～令和 4 年 3 月 31 日	企業等委員
一般企業	令和 2 年 4 月 1 日 ～令和 4 年 3 月 31 日	企業等委員
一般企業	令和 2 年 4 月 1 日 ～令和 4 年 3 月 31 日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校関係者評価」として刊行物を作成し、本校図書室に常備する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.codo.ac.jp/
--

